

2020年2月19日

報道各位

秋田信用金庫
FVC Tohoku 株式会社

あきた創業サポートファンド 株式会社リチャードソンイトウへの投資実行のお知らせ

「あきた創業サポートファンド」(※)は、株式会社リチャードソンイトウ(潟上市)に2020年2月19日に投資を行いました。投資金額は、3百万円です。同ファンドからの投資は12社14件目となります。

本件投資はあきた創業サポートファンドの投資審査基準に則り、ビジネスモデル及び事業計画等の投資審査を経て、投資決定に至りました。詳細は別紙の概要をご参照下さい。

今後もあきた創業サポートファンドでは、創業者、企業経営者からの相談、要望を受け付け、積極的な投資審査活動を進めていく予定です。

※ あきた創業サポートファンド(正式名称:あきた創業投資事業有限責任組合)は、2015年10月に秋田信用金庫、秋田市、男鹿市、潟上市、井川町、五城目町、八郎潟町、大潟村及びフューチャーベンチャーキャピタル株式会社の出資により設立されました。(現在、ファンドの運営は、FVC Tohoku 株式会社が担当。)

《本件に関するお問い合わせ》

秋田信用金庫

担当:業務部

〒010-0921

秋田県秋田市大町三丁目3番18号

TEL:018-866-6171

FVC Tohoku(エフブイシートウホク)株式会社

担当:代表取締役社長 小川 淳

〒020-0022

岩手県盛岡市大通3丁目6番12号開運橋センタービル3階

TEL:019-606-3558

<投資先企業の概要、事業内容>

株式会社リチャードソンイトウ

代表者：代表取締役 伊藤 一貴 氏

本社：秋田県潟上市飯田川飯塚字樋ノ下 59 番地

店舗：秋田県潟上市飯田川飯塚字樋ノ下 59 番地

事業内容：製材用・工業用等の刃物の研磨、設計、企画、加工、修理、販売及び輸出入

■同社の特長：

同社は、潟上市飯田川飯塚で創業し、創業100年以上の伝統があり、地元での信頼が厚い企業である。事業承継のタイミングで2018年に法人化した。現在の社長は、創業から5代目の代表者であり、33歳と大変若い経営者でもある。県内同業他社においては、機械化が道半ばであるところもあるが、同社は積極的に機械化・自動化を進めることにより生産性の改善を図り、新たな顧客開拓にも努めている。

■投資理由：

同社社長は、事業承継による後継者である。中小企業においては、経営者の高齢化と後継者不足により事業の継続が難しくなっている。数年間東京に進学及び就職していた同社社長は、地域にその後継者不足の波が来ている中で、地域及び同社の将来を憂い、Uターンにより事業承継をしている。

創業100年以上の伝統がある同社において、同社社長は業界の慣習にとらわれることなく、設備の自動化・機械化への積極的な取り組みを行っている。従来、メインとする帯鋸だけではなく、市場が大きいチップソー等の研磨事業への積極的な参入方針も評価できる。また業界事情を探るために、社長がドイツで開催された鋸に関する機械展示会に参加するなど、社長の行動力、知識欲も評価できる。地域に一定の需要がある業界の中で、事業承継をきっかけにした同社の生産性の向上及び取扱い製品の拡大は、取引先にも好影響を与え、地域経済に貢献していくことが想定できる。

以上

《株式会社リチャードソンイトウに関するお問い合わせ先》

株式会社リチャードソンイトウ

代表取締役 伊藤 一貴

TEL:018-838-5530